

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第74回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第74回：2017年1月25日(水) 13:30～17:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 711会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 橋本幹事, 佐藤, 石田, 岩谷, 喜多, 福井(田中代理), 小谷,
大滝(日高代理), 黒岩, 織田(谷口代理), 小森(12名)

(常時参加者) 野村, 池田, 友澤(3名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-74-1 第73回レベル1PRA分科会議事録(案)

P4SC-74-2 パラメータ標準2015の概要案(英語版)

P4SC-74-3 講習会開催案内

P4SC-74-4-1 停止時PRA標準改定案

P4SC-74-4-2 停止時PRA標準改定に係るコメントへの対応

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員12名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第73回議事録の確認

資料P4SC-74-1を用いて第73回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければそのまま正式版とすることとなった。

(3) パラメータ推定標準の英文概要について

資料P4SC-74-2により, リスク専門部会から検討依頼があった標準の概要(英語版)について報告があった。コメントがあれば近々に連絡いただくこととし, その上で改定したパラメータ推定標準概要(英語版)を専門部会まで回答することとなった。

(4) 今年度の講習会について

資料 P4SC-74-3 により、今年度の講習会の開催案内と講習用資料等の整備状況について報告があった。2月1日午後にパラメータ推定標準、2月2日終日でレベル 1PRA 標準の講習を行う。講習会での状況・結果については次回分科会で報告する。

(5) 停止時 PRA 標準改定案の読合せ

資料 P4SC-74-4-1, P4SC-74-4-2 を用いて、停止時 PRA 標準改定案の読み合せ検討を行った。前回分科会でのコメント対応について報告があり、次のコメントがあった。

- ・附属書 L の「期待する緩和設備又は緩和操作」は「緩和を期待する設備又は操作」に修正する。

また、改定案の読合せを行い、解説 1～解説 6 において以下の議論があった。

全 般

用語に関して「この標準」、「等」、「 ” 」等の使用に統一し、フォントを調整する。

解説 1

「確率論を用いてその安全性を総合的かつ定量的に評価する手法」は「確率論を用い安全に係るリスクについて総合的かつ定量的に評価を実施するもの」に修正する。

「要件に関して彼我の違いが生じた」は「要件に関して違いが生じた」に修正する。

解説 2

「安全設計上の特徴、機器・システム及び建物・構築物の配置などを十分に考慮すれば」は「安全に係る機器・システム設計上及び配置設計上の特徴を十分に考慮すれば」に修正する。

解説 3

対象範囲は評価対象期間とする。

解説表 3.1 において、「以前」「以降」を「以前の期間」「以降の期間」として、同意の表現を含めて修正する。

「計画外停止に対しても適用する。」は「計画外停止に対しても適用可能である。」に修正する。

解説 5

d) 項において、[/炉年], [/定検]は / 炉年, / 定検とする。

d) 項において、発生頻度は発生回数とする。

(6) 性能規定化の検討に関して

リスク専門部会から標準の性能規定化・階層化の検討依頼が発出されているが、外的事象 PRA 分科会での検討状況の紹介があった。参考として性能化された条文構成などの検討例が示され、今後の本分科会での検討にも反映していくこととなった。

(7) スケジュール

次回分科会は2月10日PMとし、停止時PRA標準改定案の解説7～解説9を読合せの上、本報告可否を採決する予定。また、次々回分科会は3月30日PMで仮設定とし、状況により開催を調整する。

以上